



TITLE:

谷泰教授略歴・著作目録

AUTHOR(S):

CITATION:

谷泰教授略歴・著作目録. 人文學報 1998, 81: 167-172

ISSUE DATE:

1998-03

URL:

<https://doi.org/10.14989/48523>

RIGHT:

谷 泰教授 略歴・著作目録

I 略 歴

- | 年 月 日 | |
|------------------|--|
| 1934・1・17 | 福岡県八幡市（現在北九州市）に生まれる |
| 1949・3 | 福岡県立小倉中学校（新制）卒業 |
| 1952・3 | 福岡県立小倉高等学校卒業 |
| 1956・3 | 京都大学文学部史学科卒業 |
| 1958・3 | 京都大学大学院文学研究科修士課程（史学科）修了 |
| 1960・5 | 京都大学大学院文学研究科博士課程（史学科）中退 |
| 1960・6 | 京都大学人文科学研究所助手 |
| 1962・4～8 | サルトロ・カンリ登山隊隊員としてパキスタン・カラコラム地域におもむき、中東世界を経験する |
| 1963・9～
65・3 | イタリア政府給費留学生としてフィレンツェ大学留学のため在外研究 |
| 1967・12～
68・3 | 京都大学大サハラ学術調査隊（隊長山下孝介）隊員としてリビア・フェザン地域での村落調査 |
| 1968・4 | 同志社大学講師（工学部） |
| 1969・4 | 同志社大学助教授（工学部） |
| 1969・7～10 | 人文科学研究所西洋部による文部省海外科研調査隊隊員としてイタリア・アブルツォ移牧村調査のため在外研究 |
| 1972・5 | イタリア・アブルツォ継続調査（私費） |
| 1973・8 | イタリア・アブルツォ継続調査（私費） |
| 1974・4 | 京都大学人文科学研究所助教授 |
| 1975・4 | 国立民族学博物館併任助教授 |
| 1975・8 | リビア・フェザン地域継続調査（私費） |
| 1977・7～8 | 文部省海外科研調査隊（「ユーラシア西南部有畜社会の比較文化的研究」）を組織し、予備調査 |
| 1978・6～11 | 上記本調査（第一年次）にてアフガニスタン・バダクシャン、ルーマニア・カルパチア地域での牧民調査 |
| 1980・6～10 | 上記本調査（第二年次）にてルーマニア・カルパチア、ギリシャ・イピロピロス、トルコ・クルド地域での継続調査 |
| 1982・4 | 京都大学人文科学研究所教授 |
| 1982・4～
89・3 | 国立民族学博物館併任教授 |
| 1982・6～10 | 上記本調査（第三次）にてルーマニア・カルパチア山地、ギリシャ・テッサリア地域での継続調査 |
| 1987・4～ | 東京外語大学アジア・アフリカ言語文化研究所運営委員（継続中） |
| 1985・7～10 | 文部省海外科研調査（隊長阪本寧男）第一次調査隊員として、インド・カシミール、ラダック地域での牧民調査 |

人 文 学 報

- 1987・7～10 上記調査第二次調査隊員として、インド・カシミール地域での継続調査
 1989・4～ 京都大学人文科学研究所所長
 91・3
 1989・7～8 上記調査第三次調査隊員としてインド・ラジャスタン地域での継続調査
 1990・4～ 国立民族学博物館運営協議委員（継続中）
 1991・12～ イラン・バクチアリ、インド・ラジャスタンにて冬季の牧民調査（稲盛財団助成）
 92・2
 1997・3 京都大学人文科学研究所を停年退官
 1997・4 京都大学名誉教授

Ⅱ 著 作 目 録

A 著・編書

- | 書 名 | 発 行 所 | 発行年月 |
|--|-------------|---------|
| 1 愛と裁き ― カトリック（会田雄次と共著） | 淡交社 | 1969・5 |
| （改題著者分復刻版：『カトリックの文化誌』日本放送出版協会1997・3） | | |
| 2 イタリア中部山村の調査報告（京都大学人文科学研究所調査報告28号） | 京都大学人文科学研究所 | 1971・12 |
| 3 牧夫フランチェスコの一日 ― イタリア中部山村生活誌 | 日本放送出版協会 | 1976・8 |
| （復刻改訂版，平凡社1996・4） | | |
| 4 人類学方法論の研究（編著：人文科学研究所共同研究報告書） | 京都大学人文科学研究所 | 1979・3 |
| 5 <i>Preliminary Report of Comparative Studies on the Agro-Pastoral Peoples in Southwestern Eurasia</i> （編著：文部省海外科研調査報告） | 京都大学人文科学研究所 | 1980・3 |
| 6 <i>Preliminary Report of Comparative Studies on the Agro-Pastoral Peoples in Southwestern Eurasia, II</i> （編著：文部省海外科研調査報告） | 京都大学人文科学研究所 | 1982・3 |
| 7 「聖書」世界の構成論理 ― 性・ヴィクティム・受難伝承 | 岩波書店 | 1984・9 |
| 8 社会的相互行為の研究（編著：人文科学研究所共同研究報告書） | 京都大学人文科学研究所 | 1987・1 |
| 9 牧畜文化の原像 ― 生態・社会・歴史（福井勝義と共編著） | 日本放送出版協会 | 1987・1 |
| 10 <i>Domesticated Plants and Animals of the Southwest Eurasian Agro-Pastoral Culture Complex</i> .（阪本寧男と共編著：文部省海外科研調査報告） | 京都大学人文科学研究所 | 1987・3 |
| 11 文化を読む（編著：人文科学研究所共同研究報告書） | 人文書院 | 1991・2 |
| 12 文化人類学を学ぶ人のために（米山俊直と共編著） | 世界思想社 | 1991・2 |
| 13 宗教と科学の対話（宗教と科学Ⅰ，河合隼雄ほかと共編著） | 岩波書店 | 1992・9 |
| 14 新しいコスモロジー（宗教と科学Ⅸ，河合隼雄ほかと共編著） | 岩波書店 | 1993・4 |
| 15 言及世界と関与（編著：文部省科学研究成果報告書） | 京都大学人文科学研究所 | 1994・3 |
| 16 神・人・家畜 ― 牧畜文化と聖書世界 | 平凡社 | 1997・2 |

- 17 コミュニケーションの自然誌 (編著: 人文科学研究所共同研究報告書)
新曜社 1997・3
- B 学術論文
- 1 中世都市フィレンツェにおける政治思想 西洋史学 38号 1958・6
- 2 ミケランジェロの挫折 人文学報 (京都大学) 15号 1962・2
- 3 歴史のプロセス 人文学報 (京都大学) 20号 1964・10
- 4 人間機械論への一前提 西洋史学 68号 1966・1
- 5 乾燥地域の国家 今西錦司還暦記念論集『人間』
中央公論社 1966・8
- 6 イタリアにおける都市国家の形成 清水盛光・会田雄次編『封建国家
の権力構造』創文社 1967・3
- 7 カトリックの比較宗教論的考察 人文学報 (京都大学) 25号 1968・1
- 8 聖と俗とのコミュニケーション 季刊人類学 1巻2号 1970・4
- 9 前期「アポストリ」異端の宗教行動理念 イタリア学会誌 21号 1972・12
- 10 Analisi linguistica di alcuni termini usati nelle relazioni applicata allo studio
della struttura sociale Giapponese *Riv.Internaz. di scienze e commer-*
ciali, XX, N.8-9. Milano 1973・9
- 11 一二・三世紀イタリア都市における教区現実 会田雄次・中村賢二郎編『異端運
動の研究』京大人文科学研究所 1974・3
- 12 日本語における親族名称の構造分析 季刊人類学 5巻2号 1974・5
- 13 Status, role and self identity in the Japanese interpersonal relationship
Riv.Internaz di scienze e commer-
ciali, XXI, N.10-10.Milano 1975・8
- 14 牧畜文化考 人文学報 (京都大学) 52号 1976・12
- 15 イタリア中部山村の移牧羊管理 会田雄次・梅棹忠夫編『ヨーロッパの社会
と文化』京大人文科学研究所 1977・3
- 16 イエスをめぐる神話的標徴のモデル 思想 636号 1977・6
- 17 二重文脈状況におけるアンヴィバレンス 本目録: 著・編書, 4所収 1979・3
- 18 呼称選択行動の方法論的考察 本目録: 著・編書, 4所収 1979・3
- 19 トランシルバニアの牧夫ー牧夫・羊間関係行動 アニマ 4号、平凡社 1979・4
- 20 習性と文化のあいだ 季刊民族学 8号 1979・4
- 21 Posture choice of the Japanese today — ambivalence in a bi-cultural situation
ZINBUN 15 1979・3
- 22 The pastoral life of the Durrani Pashtun nomads in northeastern Afghanistan
本目録: 著・編書, 5所収 1980・3
- 23 Man-sheep relationship in the flock management techniques among north
Carpathian shepherds 本目録: 著・編書, 5所収 1980・3
- 24 リーダーは果してリーダーか — ルーマニア放牧羊群の行動
観察を通じて アニマ 102号 1981・9
- 25 日本語の家族内呼称における最年少者 民族学研究 46巻3号 1981・12
- 26 Implication of the shepherds interferences into the flock — through the field
observation on the Roumanian sheep herding 本目録: 著・編書, 6所収 1982・3

- 27 犠牲ヴィクティムの本質と機能 社会史研究 1 号 1982・10
- 28 The two deaths of Jesus ZINBUN 19
- 29 人がはじめて乳を搾ったとき 季刊人類学14巻 2 号 1983・6
- 30 ディレンマへの手法 — 日常性の中での模倣 思想 728号 1985・2
- 31 音声と形姿 文化人類学 1 号、アカデミア 1985・9
- 32 西南ユーラシアにおける放牧管理 — 人・家畜関係行動の諸相 福井勝義・谷泰編『牧畜文化の原像』日本送出版協会 1987・1
- 33 Preliminary notes on the flock management techniques of the Bakharwala & Ladakhi shepherds in the northwestern India 阪本寧男編海外科研調査報告 1987・3
- 34 会話における笑い 本目録：著・編書，8 所収 1987・3
- 35 経験的世界からみた会話の位置 — 齟齬・誤解・欺瞞 家族療法研究 4 巻 2 号 1987・11
- 36 The geographical distribution and function of sheep flock leaders:a cultural aspect of the man-domesticated animal relationship in southwestern Eurasia J.Clutton-Brock(ed.),*The Walking Larder*, Unwin&Hyman 1989・1
- 37 笑いのコミュニケーション上の機能 — 欺瞞と錯誤のあいだ 糸魚川直佑・日高敏隆編『ヒューマン・エソロジー』福村出版 1989・3
- 38 Group organization and herding techniques of the Bakharwala in Kashmir 阪本寧男編海外科研調査報告 1989・4
- 39 コミュニケーション能力の進化 — チンパンジーの笑いが示唆するもの 江原昭善編『猿はどこまで人間か』小学館 1989・11
- 40 ノアの子孫の食卓 季刊人類学 20巻 4 号 1989・12
- 41 志向性の隠蔽と強化 — 旧約食規定の語り口分析 本目録：著・編書，11所収 1991・2
- 42 Mode analysis of the dietary narrative in the Pentateuch ZINBUN 24 1991・3
- 43 牧畜管理におけるインド的特質 阪本寧男編『インド亜大陸における雑穀有畜農業』学会出版センター 1991・3
- 44 家畜と家僕 — 去勢牡誘導羊の地理的分布とその意味 人文学報（京都大学）71号 1992・12
- 45 現代文明と聖なるもの 本目録：著・編書，14所収 1993・4
- 46 笑いの自己言及機能 本目録：著・編書，15所収 1994・3
- 47 考古学的意味での家畜化とは何であったか — 人・羊・山羊間のインターアクションの過程として 人文学報（京都大学）76号 1995・3
- 48 言葉の背面 山田慶児・阪上孝編『人文学のアンタミー』岩波書店 1995・4
- 49 Domestic Animal as Serf:Ideology of Nature in the Mediterranean and the Middle East R.Ellen&K.Fukui(eds.),*Rethinking Nature and Culture*, Berg 1995・5
- 50 乳利用のための搾乳はいかにして開始されたか — その経緯と背景 西南アジア研究 43号 1995・9
- 51 道具の進化にとっての言語の意味 霊長類学研究 11 号 1995・12
- 52 だれそれはしかじかのことを知らない — 会話における異化経験と関与 本目録：著・編書，17所収 1997・3

B 書 評

1 松井健「民俗分類の構造——南西諸島の場合」	季刊人類学 6巻1号	1975・2
2 小川了「フランス北部における闘鶏士社会」	季刊人類学 6巻3号	1975・9
3 北村光二「ニホンザルにおける個体間の特異な近接」	季刊人類学 8巻3号	1977・9
4 野田正彰・白松美加「妄想共同体について」	季刊人類学 10巻4号	1979・11
5 樋口勝也他「カルチャー・ショックの現場から」	季刊人類学 11巻2号	1980・6
6 秋道智也「魚・イメージ・空間」	季刊人類学 12巻2号	1981・7
7 太田至「牧畜民による家畜放牧の成立機構」	季刊人類学 13巻4号	1982・12
8 松原正毅「遊牧の世界」	民族学研究 48巻3号	1983・12
9 菅原和孝「日常会話における自己接触行動」	季刊人類学 18巻1号	1987・3
10 正高信男「リスザルの“会話”分析」	季刊人類学 20巻1号	1989・3

C 評論（エッセイおよび一般啓蒙むけ）

1 言語と文化—成分分析をめぐる	言語 1巻6号	1972・6
2 カルチャー・ショック——異なる文化環境に適応するには	朝日講座『探検と冒険』5	1972・8
3 ある夏の日のカルロ	朝日講座『探検と冒険』5	1972・8
4 イタリア中部山村の住居	都市住宅 7305	1973・4
5 呼称研究の視野	梅棹忠夫編『人類学のすすめ』 筑摩書房	1974・8
6 文化的表象の背後にあるもの	理想 504号	1975・5
7 牡羊の鈴とふんどし	人文 14号	1976・3
8 解説：梅棹忠夫『狩猟と牧畜の世界』	梅棹忠夫『狩猟と牧畜の世界』 講談社	1977・6
9 キリスト教の儀礼と神話	『講座比較文化』研究社	1977・7
10 「立つ」と「座る」	本7月号、講談社	1977・7
11 知、無知、意識、無意識	『講座二十世紀—知る』平凡社	1980・4
12 豚とケント	人文 23号	1981・3
13 羊への呼掛け	民博通信 13号	1981・6
14 ブタとケント——再考——	月刊みんぱく 49号	1981・10
15 異文化間交渉での三つの立場	国際交流	1982・5
16 別れられぬ別れのあいさつ	図書 411号	1983・11
17 ユーラシア西南部有畜社会の比較文化的研究—海外調査より	学術月報 36巻9号	1983・12
18 文化人類学の立場から	海外学術調査コロキアム—地域研 究と言語 総括班	1984・3
19 私の「恥ずかしい」話	季刊人類学 15巻2号	1984・6
20 「こころ」を再読して	季刊人類学 15巻3号	1984・10
21 牧夫にとって羊とはなにか	『講座イスラム世界の人びと・ 牧畜民』東洋経済新報社	1984・10
22 記憶装置と時間	岩波講座『哲学』7・月報	1985・6
23 学会50年に思う——中心のない竜巻の中から	民族学研究 50巻1号	1985・6
24 マニキュアとベディキュア	民博通信 39号	1987・3

人 文 学 報

- | | | | |
|----|---------------------------------|------------------------------------|---------|
| 25 | ウサギの耳はロバの耳——ウサギはなぜ食べられないか | 季刊人類学 18巻4号 | 1987・12 |
| 26 | 牧畜革命 | 週刊朝日百科：世界の歴史
朝日新聞社 | 1989・2 |
| 27 | 文化の森に近づく人のために | 米山俊直・谷泰編『文化人類学を
学ぶ人のために』世界思想社 | 1991・1 |
| 28 | 故藤岡喜愛さんの思考過程 | 民族学研究 57巻1号 | 1992・6 |
| 29 | 読みの手がかり——日常的相互行為の事例から | 保険医療とコミュニケーション
日本保険医療行動科学会年報17号 | 1992・11 |
| 30 | 解説：クリフォード・ギアーツ「文化体系としての宗教」 | 『宗教と科学別巻2ー基礎
文献：外国編』岩波書店 | 1993・3 |
| 31 | 解説：グレゴリー・ベートソン「遊びと空想の理論」 | 『宗教と科学別巻2ー基礎
文献：外国編』岩波書店 | 1993・3 |
| 32 | 誰が最初に乳を搾ったか | 週刊朝日百科：動物たちの地球
朝日新聞社 | 1993・1 |
| 33 | 一点から世界を透視する論理 | 河合隼雄編『洛中巷談』潮出版 | 1994・3 |
| 34 | 家畜化の起源をめぐる | 福井勝義編『自然と人間の共生』
雄山閣 | 1995・9 |
| 35 | 解説：その後の今西遊牧論 | 今西錦司『遊牧論そのほか』平凡社 | 1995・9 |
| 36 | 自然管理者としての人間の位置——人はなぜ神に似てい
るか | 川田順造編『ヨーロッパの基層文
化』岩波書店 | 1995・11 |
| 37 | 家畜去勢と人間去勢 | 大航海7号, 新書館 | 1995・12 |
| 38 | 握られた手 | 人文 43号 | 1997・3 |

D 翻 訳

- | | | | |
|---|-------------------------|--|-----------------------------------|
| 1 | ガリレオ・ガリレイ『星界の報告』 | 世界大思想全集 31『ガリレオ・ケプラー』
河出書房新社（山田慶児と共訳） | 1963・7
（『星界の報告』岩波文庫で復刻1976・10） |
| 2 | ガリレオ・ガリレイ『太陽黒点に関する第一書簡』 | 世界大思想全集 31『ガリレオ・ケプラー』
河出書房新社（山田慶児と共訳） | 1963・7
（『星界の報告』岩波文庫で復刻1976・10） |
| 3 | ガリレオ・ガリレイ『偽金鑑定官』 | 『世界の名著・ガリレオ』中央公論社
（山田慶児と共訳） | 1973・6 |
| 4 | レオナルド・ダ・ヴィンチ『マドリッド手稿』 | 岩波書店（永井三明, 池田廉ほか
と共訳） | 1975・11 |
| 5 | E.T.ホール『文化を越えて』 | TBSブリタニカ（岩田慶治と共訳） | 1979・6 |
| 6 | P.パーク『ヨーロッパの民衆文化』 | 人文書院（中村賢二郎と共訳） | 1988・6 |
| 7 | C・ギアーツ「文化体系としての宗教」 | 『宗教と科学別巻2ー基礎
文献：外国編』岩波書店 | 1993・3 |